



みことくん

出雲市の台所事情

(出雲市財政白書)



ひめちゃん

出雲市では、総合振興計画『新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」』の実現に向けた基本方策を着実に推進するとともに、財政の健全化を図り、持続可能な財政運営を行うことができるよう、今後10年間を見通した『出雲市財政計画』を策定しました。

財政計画はとてもむずかしいことばですが、主に「決算（家計簿）」、「市債（借金）」「財政見通し（台所事情）」をポイントに、市民のみなさんにわかりやすく説明します。

出雲市の決算状況(平成23年度)

決算では、出雲市の1年間の収入（歳入）と支出（歳出）にいくらかかったのかがわかります。

会計の種類は大きくわけて3種類になります。

一般会計

福祉や教育、道路整備といった市で行う基本的な事業の会計

特別会計

国民健康保険や介護保険のように対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要がある事業の会計

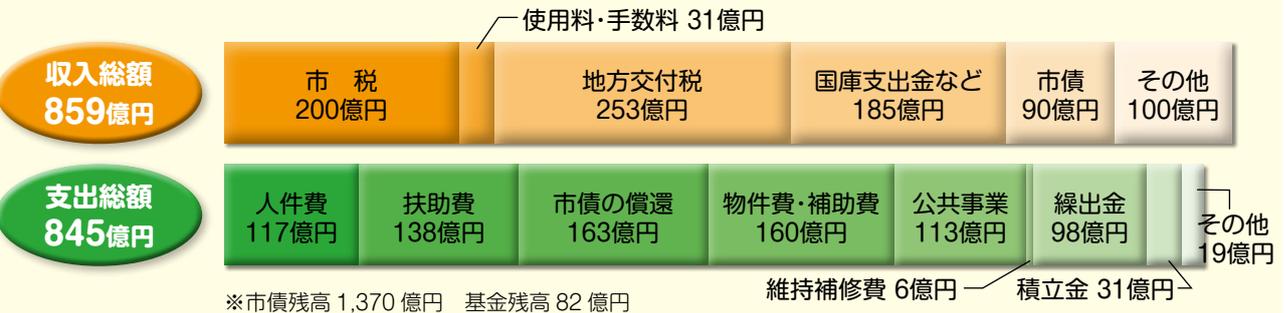
企業会計

水道や病院など民間企業のように、利用料金などの収益で運営している会計

では、出雲市の収入と支出の割合を見てみましょう。

ここでは、普通会計（一般会計と特別会計の一部をあわせて、他の自治体と容易に比較できるように考えられたもの）を用いて説明します。

◆普通会計



845億円ってどれくらい？



額が大きすぎて
ピンとこないなあ～

学校建設費約42校分＝845億円



それでは出雲市の決算をよりわかりやすくするために、家計に例えて説明します。

出雲市の決算を家計に例えると…

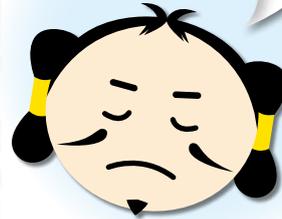
出雲市の平成23年度の決算を年収480万円(1か月あたり40万円)の家庭に例えてみると、このようになります。

収入

平成23年度決算 859億円

給料	21万1千円 (52.7%)
うち基本給(市税)	9万3千円 (23.3%)
うち諸手当(地方交付税 [※])	11万8千円 (29.4%)
パート収入(使用料・手数料など)	1万4千円 (3.6%)
親からの仕送り(国庫支出金など)	8万6千円 (21.5%)
銀行からの借入(市債)	4万2千円 (10.5%)
その他臨時収入(基金繰入金など)	4万7千円 (11.7%)
合計	40万円 (100%)

収入の約半分が市税と地方交付税です。交付税は全体で最も比率が大きく、市の財政が交付税に依存していることが分かります。



※地方交付税とは自治体間の財源を調整するなどの目的で、一度国が集めた税を自治体に再分配しているものです。ここでは本来的に自治体の収入といえることから、「給料」に区分しています。

支出

平成23年度決算 845億円

食費(人件費)	5万4千円 (14.0%)
医療費・保育料 (扶助費…各種福祉サービス費)	6万4千円 (16.3%)
住宅ローン返済(公債費…市債の償還)	7万6千円 (19.3%)
光熱水費や衣服代(物件費・補助費)	7万4千円 (18.9%)
家の増改築費、車の購入 (公共事業…道路や施設の建設など)	5万3千円 (13.4%)
家財や車の修理(維持補修費)	3千円 (0.7%)
子どもたちへの仕送り (他会計への繰出金)	4万6千円 (11.6%)
貯金(積立金)	1万4千円 (3.6%)
その他(貸付金など)	9千円 (2.2%)
合計	39万3千円 (100%)

各種の福祉サービスに要する費用が多く割合を占めているうえ、年々増加しています。



支出の約20%を借金の返済が占めていて、家計を圧迫してるんだね!



年収480万円に対して、貯金と借金の状況は？
ローンの残高(市債残高)[※] 766万円
貯金の残高(基金残高) 46万円

※普通会計と企業会計等を含めたローンの残高は、1,302万円です。

こんなにローンが残っているのに、貯金が少ししかないわ～。



給料とパート収入だけでは、お金が足りてないのね。

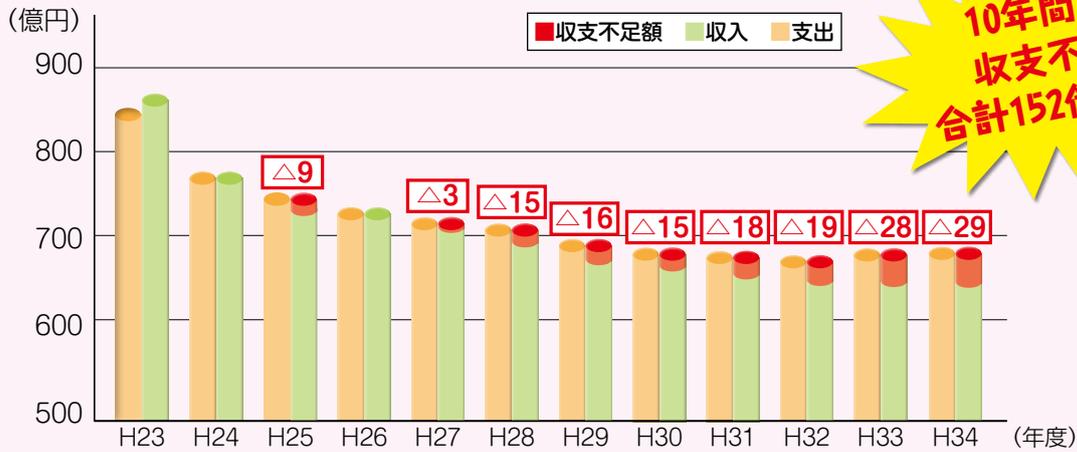
決算から市の財政状況が明らかになってきました。今後10年で出雲市の財政状況はどうなるのでしょうか？次からご説明します。

危険水域にある出雲市の財政



家計で例えると、出雲市の財政状況が厳しいことがわかったわ。けど、これからもずっとこの状況が続くの？

◆今後10年間の財政見通し



10年間の収支不足合計152億円!



今後10年間の財政見通しでは、ほぼ毎年度で収支不足が生じ、その合計額は約152億円となる見込みです。このままでは、持続可能な市政運営を行っていくことは不可能な状況です。

どうして、お金がこれほど不足するの？



収入と支出のバランスがどんどん悪くなってしまっただね。



収入では、不況の影響や、少子高齢化が進むことで働く世代の割合が減っていくこともあって、市税の増加が望めないことがあります。

そのうえに、合併の特例として加算されている地方交付税も合併後10年をすぎると、だんだん減っていく見込みです。

一方、支出では、市債の償還（借金の返済）がなかなか減らないことや各種の福祉サービスにかかる経費が年々増えていくので、ますます収支不足が膨らんでいく傾向にあります。



どうして、借金の返済がこれほど多くなったの？



下水道事業の拡大や過去の国の大規模な経済対策に対応した積極的な投資、庁舎建設など合併後の集中的な投資を行ってきましたが、これらの財源として多くの市債（借金）を発行したことが原因です。

どうして交付税が減るの？



このまま収支不足が続くと、財政破たんにつながり、税率を上げたり、各種公共サービスを廃止しなければならず、十分なサービスができなくなります。



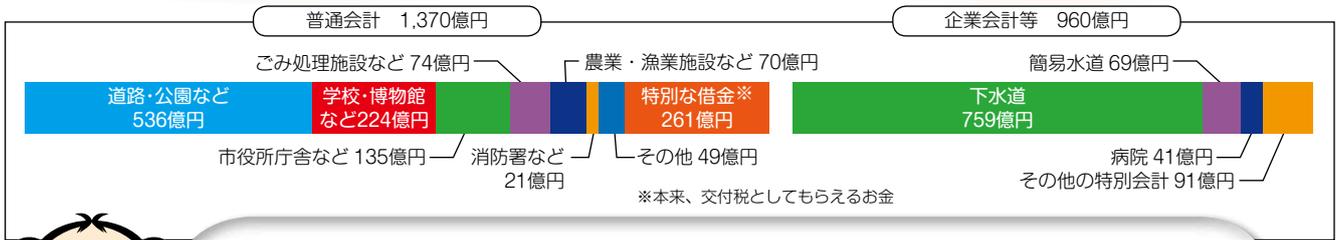
今後、借金はどうなるの？きちんと返せるの？

次に、支出の2割を占める借金の返済と収入の3割を占める地方交付税について、くわしく見てみましょう。

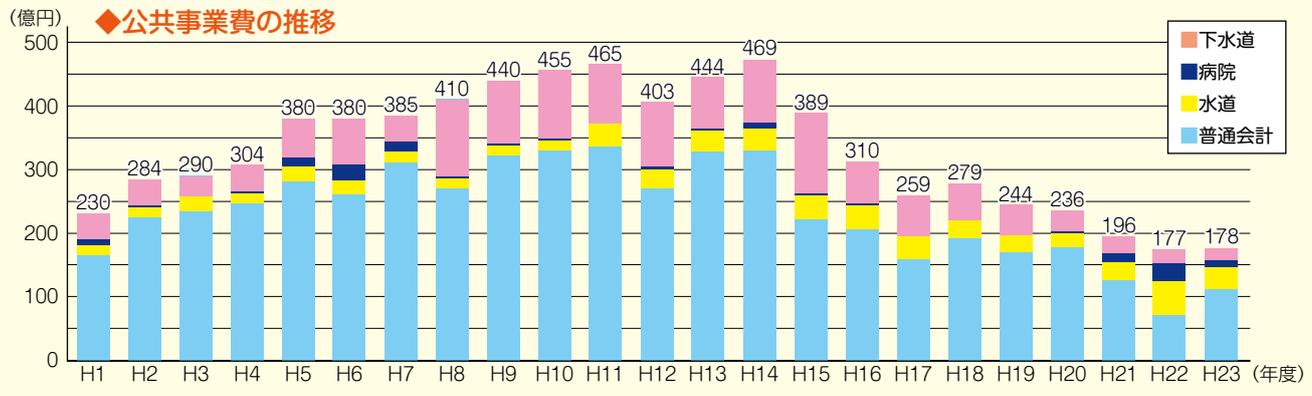
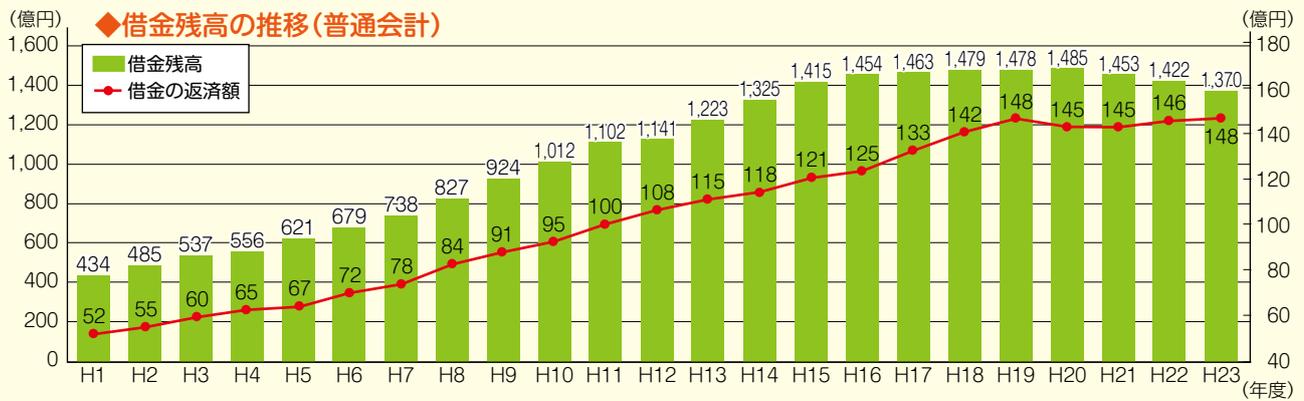
どれだけあるの？出雲市の借金

出雲市の借金はどうなっているの？

平成23年度末の借金残高 **2,330 億円**



上のグラフは、借金の使い道を表しています。出雲市では、道路や学校、下水道のように市民のみさんの生活に密着した施設を積極的につくってきたため、借金が多くなりました。借金の残高のピークは平成20年度に越えましたが、たくさんの借金があることに違いはありません。近年は、公共事業を縮減したり、過去の借金の返済時期を早めたりして、借金の残高を減らしています。

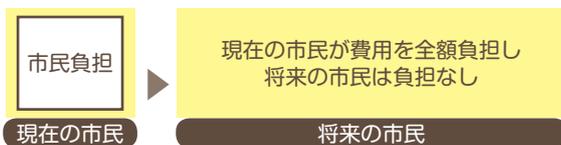


どうして借金をするのでしょうか？

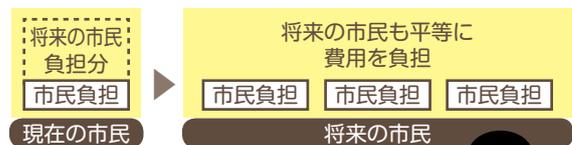
道路や学校、下水道などの公共施設を建設するときには、一時的に多くのお金が必要となり、その年の収入だけで賄ってしまうと他のサービスができなくなってしまいます。

また、道路や学校はつくったときの市民だけでなく、将来の市民も使用するものなので、負担の公平性を図るため、いったん借金をして、長期間にわたり分割して返済していきます。

●借金をしないと…



●借金をすると…



いま建設をしている道路や学校は、将来も使うものだから、そのお金をみんなで少しずつ分担しようというものです。大切に使わなければいけませんね。でも、将来の自分も払うことを考えると、借金はやっぱり少ないほうがいいですね。



地方交付税が大幅に減るって本当なの？

「地方交付税」って何？



地方交付税制度は、全国どこの自治体でも標準的な行政サービスを受けられるように、財源を安定させる仕組みです。

本来、歳出はその自治体の税収で賄うべきですが、税源となる個人や企業などの所得や財産は、地域によってバラツキがあり、多くの自治体が税収だけでは必要な財源を確保できません。そこで、いったん国が集めた税を、それぞれの自治体の標準的な支出に見合うよう再分配したものが地方交付税です。



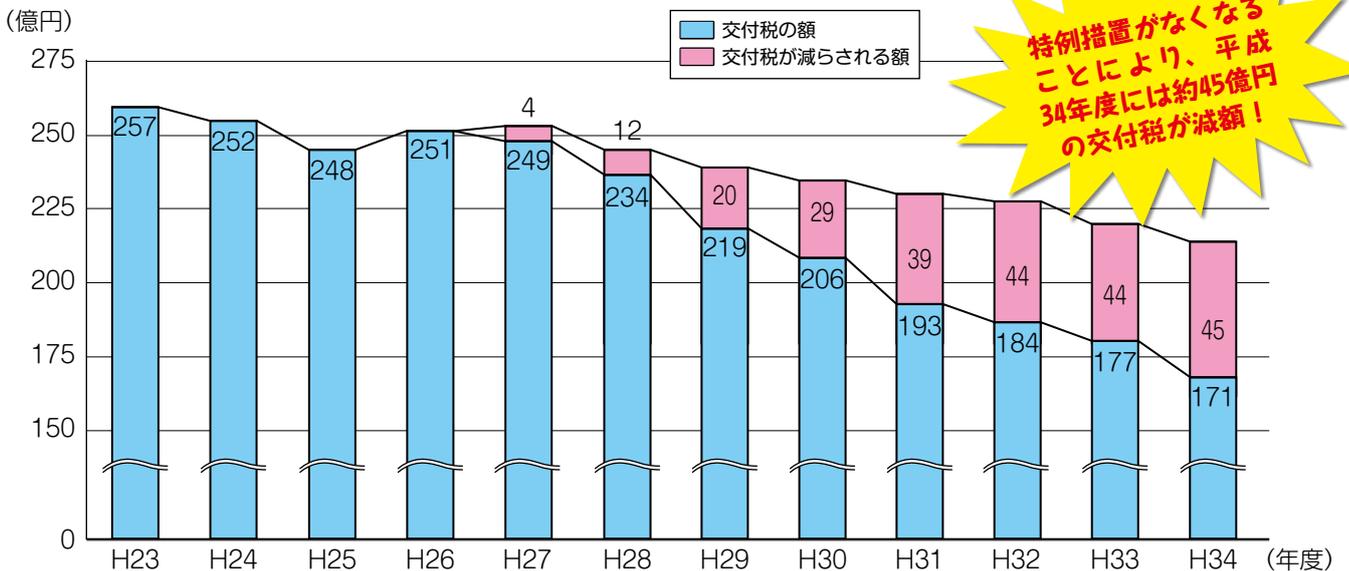
どうして交付税が減るの？



本来、地方交付税は各団体別に算定されるため、市町村合併した自治体は一体として算定が行われ、交付税が減額されることとなります。

しかし、合併してすぐ減額されれば、「それなら合併するのはヤメタ」ということになりかねません。このため、合併市町村の特例措置として、合併後10年間は、合併前の交付税の合算額を保障し、その後5年間で段階的に引き下げ、本来の交付税に戻すという制度を国が設けたものです。この特例措置がなくなる影響で、本来の交付税となる平成34年度には年間約45億円が減額となる見込みです。

このほか、人口の減少に伴う影響など他の要因を含め、平成23年度と比較すると、平成34年度には、80億円を超える交付税の減額が見込まれています。



10年後には、今より3割以上、交付税が減るのね!!



支出を減らすように早めに準備しなきゃ!



収入が減るから、お金の使い方を考え直さないといけないなあ~!



交付税の減額が始まる平成27年度以降は、非常に厳しい財政運営を強いられることとなります。



出雲市の財政の健康診断をしてみよう！

■ 出雲市の財政は「大丈夫？」■

平成19年にできた「財政健全化法」*という法律により、各自治体に「財政の健康診断」ともいえる4つの指標を公表することが義務付けられました。出雲市の財政がどんな健康状態か、年間の収支や借金残高などにより、4つの視点から診断します。

*正式名称「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」

◆健全化判断比率(H23年度決算)

	内 容	出雲市	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	— (正常)	11.29%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計の赤字の割合	— (正常)	16.29%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	21.4% (全国ワースト8位!)*	25.0%
将来負担比率	将来支払っていく可能性のある負債の割合	237.7% (全国ワースト9位!)*	350.0%

え～!!
全国ワースト10位に入ってるの!?
改善できるの?

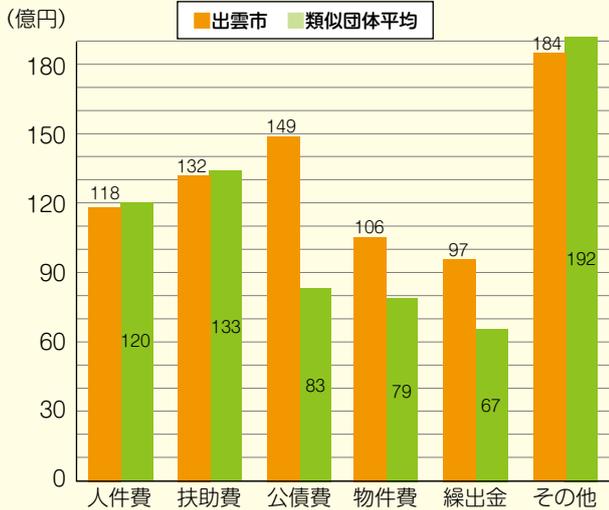
診断結果は「要治療」。
借金依存の体質を改善しないと将来がとても不安です。

この4つの指標のうち、1つでも「早期健全化基準」を超えると、財政健全化計画をつくって自主的な財政健全化に取り組むこととなります。(※全国790市区中の順位)

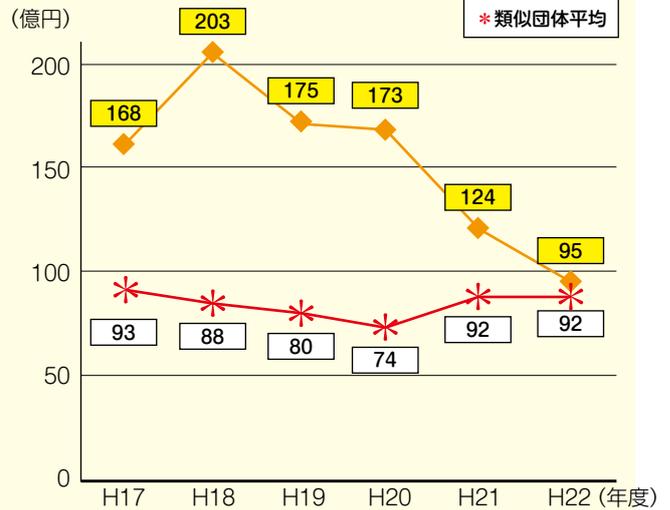
■ 出雲市と同じ規模の団体を比べてみよう！ ■

人口や産業構造などによって全国の市町村をいくつかのグループに分類し、出雲市と同じ規模の団体（類似団体）を比べてみると、以下のような特徴がわかりました。

平成22年度決算額比較(普通会計)



公共事業費の推移(普通会計)



左上のグラフを見ると、人件費はほぼ同じくらいですが、公債費（借金の返済金）や物件費（施設の管理費や光熱水費など）、繰出金（一般会計から特別会計へ支出する経費）は、類似団体より多く支出しています。

また、右上のグラフでは、公共事業費（道路や学校などの建設費）の平成17年度から平成22年度までの動きを比べていますが、その差は一目瞭然です。

借金の返済が類似団体の倍近いのね！

どうして物件費がこんなに多いの？

合併して、類似の施設がたくさんあり、維持管理に多くの経費がかかっているため、物件費が多くなっています。

変えなきゃ！お金の使い方、お金の集め方

お金が足りなくなるってことだけど、市では、どんな対策を立てているんですか？



今後見込まれる収支不足を解消し、安定的な行政サービスを提供していくため、「出雲市財政計画」を策定しました。この計画を指針として、お金の使い方とお金の集め方の両方について、今後、より踏み込んだ見直しに着手し、さらなる行財政改革の取組を実施することにより、収支不足を解消していきます。

1-まず、市役所自らが身を削ります。

◆総人件費のさらなる削減

職員の人数を減らしたり、給与を縮減することにより、総人件費のさらなる削減を図ります。

◆内部管理経費の徹底した削減

光熱水費や事務費などの内部管理経費の徹底した削減を図ります。

2-公共事業の規模を適正化し、事業の選択と集中を進めます。

◆公共事業の規模の適正化

道路、街路、区画整理など都市基盤の先行投資が進んできたことから、今後は、公共事業費を財政力に見合った適正な規模に縮減し、新たな借金を抑制していきます。これにより、増大した借金を計画的に減らしていきます。

◆事業の選択と集中

限られた財源を効率的・効果的に配分し、選択と集中によるメリハリのある事業を展開していきます。

3-サービスの水準やサービスを利用する方に負担してもらうお金を見直します。

◆公共施設の統合・再編

2市5町の合併により、市内に類似する施設が複数存在しています。維持管理に多くの経費がかかっているうえに、今後、施設の改修等に多額な経費がかかるため、公共施設の統合・再編に着手していきます。

◆受益者負担の適正化

サービスを受ける市民と受けない市民の間で不公平がないよう、使用料や手数料などを、サービスにかかる経費に見合った金額に見直していきます。

◆補助金の見直し

以前から継続的に交付している補助金について、その目的、役割、成果、市民への影響などを検討し、見直していきます。

◆サービス水準の見直し

サービス水準が社会的情勢にあっているかなどを検証し、サービス内容や本人負担額などを見直していきます。

◆行政の事業領域・サービスの担い手の検討

「行政が本当になければならないことは何か」「民間に任せられないか」などを検討し、民間でできることは民間主導のサービスへ移行していきます。

4-さらなる収入確保に努めます。

◆地域経済の活性化と雇用の創出による税収の増額 ◆市税や国民健康保険料等の収納率の向上

◆市が持っている使わなくなった土地は積極的に売却します。

財政計画上は、さらなる行財政改革の効果額を見込むことにより、収支不足を解消し、今後10年間で収支バランスが保てる見込みとなっています。次世代に高負担を先送りすることのないよう、計画に沿った取組を実行していくことが何より重要です。



みんなで力をあわせて、将来にわたって 持続可能な出雲市を実現させよう。

これまで説明したとおり、出雲市の台所事情は、とても厳しい状況となっています。

しかしながら、2市5町の合併を経て、本市は、豊かで美しい自然、神話の国を象徴する歴史や文化遺産があり、世界に通用する「出雲」というブランド力をもつ極めて発展性の高いまちです。

これらの地域資源を市民の力を結集して最大限に活用することで、産業の振興、観光の推進など地域経済を活性化させ、活力ある、魅力的で元気なまちにしたいと考えています。

出雲市では、これからのまちづくりの将来像を「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」と決めました。この将来像の実現にむけ、将来にわたって持続可能な、次世代につながる新たな「出雲」のまちづくりに、みんなで力をあわせて取り組みましょう。



出雲市は、これからどんなことに力を入れるの？



- 元気を生むため、新たに2,000人の雇用を創出します。
- 元気を生むため、人口17万人を維持します。
- 元気を生むため、交流人口*1,000万人を実現します。 ※観光等による入込客数
- 優しさと幸せあふれるまちを実現するため、市民一人ひとりに
とって住みやすさNo.1のまちをめざします。



未来の出雲市のために、
私たちができることはどんなことだろう？

ごみを減らし、
資源を大切に
すること。

健康で楽しい
生活をおくる
こと。

地元で生産された
ものを食べる
こと。

出雲の魅力
を再発見する
こと。

人権を尊重し
人材を育てる
こと。

いろいろな
ボランティア活動
に参加すること。

出雲市を
好きになること。

出雲の
まちづくりに
関心をもつこと。



出雲市財政部財政課

電話 : 0853-21-6608 FAX : 0853-21-6518

電子メール : zaisei@city.izumo.shimane.jp

平成 25 年 2 月